

会費納入のお願い

本会は、皆様方からの会費により運営されています。今後同窓会を継続的に運営し、充実した会にしていくためには、ぜひ皆様のご協力が必要となりますので、会費（終身10,000円）未納の方は至急振込をお願いいたします。

会費振込先

口座名 三菱東京UFJ銀行藤ヶ丘支店 普通預金

口座番号 0004390

口座名義人 愛知医科大学看護学部同窓会

なお、会費納入に関するご相談等にも応じていますので、本会事務局までお気軽にご相談ください。

寄稿のお願い

同窓生の皆さん方の近況報告などを順次掲載していきたいと考えていますので、ぜひご投稿ください。
また少人数でも結構ですから、同期会などを開催された場合も是非お知らせください。（写真等を添付の上、メールにてお送りください。）

新企画

第一回

同窓生から ミニマムアピール!!

藤澤恵児（愛知医大病院HCU勤務）

今回は、私のおすすめ本を紹介します!! 紹介する本は、森村誠一さんが書いた「悪魔の飽食」という本です。第二次世界大戦の中で、旧日本陸軍が行っていた数々のことが書かれています。驚くことに、その中には医師をはじめとして、多くの医療従事者も関わっていたのです。人間の尊厳とは何か、生きていくこととはどういうことなのだろうか。安保法案や憲法の話が社会に出ています。日本の平和を今一度、医療者の目で立ち止まって考えたい。戦争を知らない世代こそ、この本の実事を直視したい! そんな思いで紹介しました。ぜひ、興味のある人は読んでみてください。



編集後記

愛知医科大学看護学部同窓会員ならびに卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年3月には13期生、108名もの看護学部卒業生が新たな道を歩み始めました。現在までに卒業生は1,123人となり、同窓会を益々発展させていきたいと考えています。

今年度から同窓会役員も一新しました。この新たにスタートした新役員で、今後は同窓会員を対象としたイベントを企画し、年齢や職業を超えて、同級生以外でも繋がりを広げられたらと思います。

また、この会報も今までに加え、今後は皆様の近況報告の場としてお使い頂きたいと考えています。皆様がこの一年で印象に残った出来事、現在の働かれている様子、ご自身や友人の結婚・出産・育児の様子などのエピソード、写真などがありましたら是非ご投稿ください。

看護学部同窓会を皆様と一緒にさらなる発展させていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞお力添えをお願い致します。

看護学部同窓会副会長 柳田 崇仁（第7回生）

愛知医科大学看護学部同窓会会報 第8号

発行日 平成28年3月1日 発行 愛知医科大学看護学部同窓会
発行人 堺 宣博 編集人 柳田 崇仁
連絡先 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
愛知医科大学看護学部学生支援課内 看護学部同窓会事務局
電話:0561-61-5412(直通) FAX:0561-61-1815
E-mail:kandou@aichi-med-u.ac.jp
URL:http://www.aichi-med-u.ac.jp/kangodousou/

愛知医科大学 看護学部

同窓会会報

第8号

平成28年
3月1日



看護学部同窓会新役員

新会長挨拶

愛知医科大学看護学部同窓会会長 堺 宣博



愛知医科大学看護学部同窓会の方並びに関係者の皆様、いかがおすごでしょうか。今年度は暖冬とはいえながらも気温差の激しい日々が続く、体調を崩される方も多かったように感じます。そのような中でも同窓会員の皆様はますますご健勝のことと存じ上げます。

さて今回私は、前会長の退任に伴い、臨時総会を開催し承認を得て、新会長に任命されました。合わせて新役員を募り、20名を超える新役員が誕生しました。新たなメンバーから新たなアイデアが生まれることを期待していますし、気分も新たに盛り上げていけるのではないかと考えています。

前回の役員が集まりでは、大学時代では全く絡まなかった後輩の皆とも意見交換ができ、新鮮な気分を味わえました。

今年度も愛知医科大学看護学部は新たに108名の卒業生を輩出し、多くの同窓生が誕生しましたので、その方々を含めた皆様のご協力をいただきながら、同窓会員にとって「あってよかったな」と思ってもらえるような活動が「見える」よう具体的なアクションを起こしていきたいと考えますので今後ともよろしくお願いいたします。

つきましては今年度も5月に定期総会を行いますので時間の都合の付きます方は友人・職場の先輩・後輩・同期をお誘いあわせの上で参加ください。総会とはいっても、私のように「ゆる〜い」会でありますのでどうぞ皆様、気楽にお立ち寄りください。

同窓会役員名簿

役職	氏名	卒業回数	任期期間
会長	堺 宣博	3期生	平成28年2月20日 ～平成30年3月31日
副会長	柳田 崇仁	7期生	
	藤澤 恵児	9期生	
理事	佐藤 輔	2期生	
	内藤 博文	3期生	
	佐藤 義明	4期生	
	戸谷 信雄	5期生	
	矢野 絵美	5期生	
	若山沙代里	6期生	
	田畑 勇樹	7期生	
	竹谷 幸恵	7期生	

役職	氏名	卒業回数	任期期間
理事	松永 渚	8期生	平成28年2月20日 ～平成30年3月31日
	稲垣 拓磨	8期生	
	加藤 健太	9期生	
	石田 雄城	9期生	
	上野 晶子	12期生	
	樋口 文菜	12期生	
監事	石川 亜椰	12期生	
	嵐山 裕介	3期生	
顧問	坂田 美樹	2期生	
	衣斐 達		

※但し、顧問は任期期間に関係なく看護学部長に変更があれば交替する。

平成28年度事業計画

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 看護学部同窓会報第9号の発行 | 8 大学祭でのイベントの開催 |
| 2 平成28年度卒業生への卒業記念品贈呈 | 9 同窓会事務室保管庫整備 |
| 3 平成28年度卒業生への看護学部同窓会長賞記念品贈呈 | 10 看護学部退官教授への記念品贈呈 |
| 4 同窓会ホームページの改修 | 11 看護学部保健師の会への補助 |
| 5 定期総会関係業務委託 | 12 看護学部卒業10周年の会への補助 |
| 6 謝恩会への補助 | 13 その他 |
| 7 クラス会等への補助 | |

平成27年度 卒業生(13期生)



「りぼんの会」レポート

平成27年6月14日(日)に「りぼんの会」(保健師として就業する卒業生の会)が開催され、卒業生の29名が参加しました。(在校生及び教員を含むと44名、子どもさん13名)平成27年度の担当は5期生の企画で、職場紹介やグループワーク、食事を交えての交流などが行われました。りぼんの会も誕生から6周年を迎え、子どもさん連れの参加者も増えるなど、一層にぎやかな会になっています。同窓会のご支援に深く感謝いたします。(坂本真理子)



平成28年度 愛知医科大学看護学部同窓会 定例総会開催のご案内

平成28年度看護学部同窓会定例時総会を下記のとおり開催いたしますので、ご多忙のことは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時 平成28年5月28日(土) 11:00～

場所 愛知医科大学 本館7階 第一会議室

※総会終了後、親睦会を開催します。(昼食を用意いたします。)



看護学部同窓会 第1回ボウリング大会 平成28年9月10日(土) 午後2時 ● 星ヶ丘ボウリング場

第1回ボウリング大会を行いました!! 看護学部同窓会会長 堺 宣博

学年を越えて卒業生の親睦を深めることのできるイベントが何かできないかと考え、看護学部同窓会として初めての試みとなるボウリング大会を行いました。

各学年の担当理事の協力・呼びかけのもと、多くは集まりませんでしたが学年を越えて卒業生が交流を深めることができました。子供連れの参加者がいたり豪華景品もあったりして和気あいあいとした雰囲気(な

かには本気で投げる人もいて)楽しむことができたように思います。(僕のベストスコアは179!入賞賞品でドローンをゲットしました。)

次年度に関しても同様かまた違った楽しいイベントを計画していきたいと考えていますので皆さんのアイデアやご協力そしてご参加を心よりお待ちしております。



看護学部同窓会ボウリング大会に参加して

第8期生 稲垣 拓磨

皆さんは小・中・高校時代の友達とは連絡を取って会うことはありますか?

僕は時々、地元に戻っては幼馴染と連絡を取り、ご飯を食べに行ったり、遊びに行ったりします。たまにしか会わないので、会った時にはお互いの近況を話したり思い出話に浸ったり、時には将来のことを語り合ったりすることもあります。

昔からの友達だと気兼ねなく話せるし、懐かしい気持ちになりますね。今は毎日のように顔を合わせる同級生も時が経てばそれぞれ別の道を歩み始めます。同じ大学で学び成長しあった友達はこれからも大切な存在となることでしょう。まだ、なかなか実感は湧かないかと思いますが、看護師として働き始めると勤務時間もバラバラな上、仕事で忙しいと遊びの計画を立てるのも一苦労です。汗

第7期生も約70名愛知医科大学に就職しましたが、同じ病院で働いていても、たまに廊下ですれ違うぐらいで会う機会はほとんどなくなってしまいます。

今回、初めての開催となる第一回愛知医科大学看護学部同窓会のボウリング大会に参加しました。参加者は全体で同窓会理事メンバーも含め17名と少なめでしたが、初めての企画としては個人的に確かな手ごたえを感じて

います。笑

僕の学年からは5名参加があり、参加者の中には妊娠している人や県外で働いている人もいました。お互い久しぶりで、「もしかしたら卒業以来会ってないかも!?!」って人もいました。同級生だけでなく、部活動の先輩にも会えることができ学生時代に戻ったような懐かしい気持ちになりました。

同窓会って聞くと、誰かが幹事をやってお店を予約したり皆さんに呼びかけたりする必要がありますが、同窓会主催の企画だったのでその点も心配せずに済みました。

同窓会の運営は卒業生から集めている会費で運営しています。現在のところ、初回のみ1万円でその後は生涯、支払う必要がありません。学生の皆さんにとって1万円は高価かとは思いますが、卒業後、多少の条件はありますが同窓会として飲み会を開けば、同窓会から何度でも補助がでたり、今回のようにイベントごとがあったりと特典もあります。

将来、皆さんが学生時代を思い出し、懐かしい気持ちになれるような活動をこれからも行っていこうと考えていますので、ご協力いただけると幸いです。



活気ある同窓会を目指して

看護学部同窓会理事 松永 渚

同窓会と聞いてみなさんは何を思いますか。年に1回、同窓会の会報が発行されているのはご存知ですか。ちゃんと見たことはありますか。正直、私が今回同窓会理事を務めるまで、同窓会会報は写真を見るだけで、中までしっかりと読み深めることはありませんでした。また、どんな活動をしているのかも特に気に留めることもなく、気がつくと会報が届いているなー、出欠のハガキが届いたけど参加する人なんているのかなー、くらいにしか思っていませんでした。

しかし、実際に理事会や定期総会に参加してみて、同窓会が危機的な状態であることを知りました。そこで、同窓会をもっとより良くするためにどうしたらいいのか、という話し合いが成されました。まずは、同窓会をもっと知ってもらうためにどうしたらいいのか、どうやったら知ってもらえるのか、考えました。従来のハガキでは返信もなかなか少なく、住所変更をしていない一人暮らしの方は、実家に案内が届いてしまうため、見ずに捨てられてしまうこともあるそうです。とても悲しく思います。みんなの思いが詰まった会報、努力して作成された会報、是非みなさんにも読んでいただきたいです。今流行のソーシャルネットワークを利用する案もあがりましたが、個人情報の管理が難しいことと、携帯が変わったときに再登録して継続して利用してもらうことが困難であることが考えられ、やはりハガキ

で連絡を、ということになりました。インターネット上にホームページもありますが、みなさんにご存知でしょうか。私は知りませんでした。ホームページからも同窓会の活動をご覧頂けますので、是非閲覧していただきたいなと思います。

では、同窓会がもしなかったら、そんなことをみなさんは考えたことありますか。当たり前にあると思っていませんか。理事の人ががんばって盛り上げ、活動したところで、規模はとて小さく、同窓会であるかどうか疑問を抱いてしまいそうです。もっと同窓会が活気あるものになるように、今年度は初めての試みとして、ボウリング大会を開催しました。参加者は少なかったですが、先輩・後輩とのふれあいはとても暖かく、楽しく、貴重な時間となりました。情報交換の場にもなり、とても良いイベントとなりました。卒業生のみなさんで、同窓会をもっと活気あるものにしませんか。イベントがある際には是非、友達を誘って参加してみませんか。私は同窓会が多くの人の交流の場になることを期待したいと思います。まずは、会報を手にとってみてください。そして、会報を読んでみてください。知らないことがいっぱいです。

みなさんのイベントへの参加、定期総会への参加、とても楽しみにしたいと思います。もっと同窓会に興味を持っていただけたら幸いです。

会費納入のお願い

本会は、皆様方からの会費により運営されています。今後同窓会を継続的に運営し、充実した会にしていくためには、ぜひ皆様のご協力が必要となりますので、会費（終身10,000円）未納の方は至急振込をお願いいたします。

会費振込先 座名 三菱東京UFJ銀行藤ヶ丘支店 普通預金
座番号 0004390
座名義人 愛知医科大学看護学部同窓会

なお、会費納入に関するご相談等にも応じていますので、本会事務局までお気軽にご相談ください。

愛知医科大学看護学部同窓会会報 号外

発行日 平成28年12月1日
 発行 愛知医科大学看護学部同窓会
 発行人 堀 宣博
 編集人 柳田 崇仁
 連絡先 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
 愛知医科大学看護学部学生支援課内 看護学部同窓会事務局
 電話：0561-61-5412（直通） FAX:0561-61-1815
 E-mail: kandou@aichi-med-u.ac.jp
 URL: http://www.aichi-med-u.ac.jp/kangodousou/